



## いよいよ卒業のシーズンです

本日で2月が終了します。今年度もあとひと月となりました。昨年度の今頃、校長室だよりで「自立」というテーマで以下のような文章を掲載しました。紹介します。

6年生は中学校へ進学し、また1年生から5年生はひと月後には一つ上の学年に進級します。進級するとともに子どもたちはできることが増えてきます。今までは家の人に言われなければできなかったことが、自分でできるようになります。例えば、起こしてもらっていたのが目覚ましを使いつつも自分で起きられるようになる、言われてやっていた宿題を自分で取組むようになるなどです。これが子どもの成長だと思います。こうした成長に伴い、今まで手をかけていた、大人の手は減っていくものでしょう。

しかし、子どもは成長しようとしているのに相変わらず大人が手をかけてしまっただけでは、子どもの成長は促されません。我々大人は子どもが健全に成長し自立することを願っていますが、ややもすれば、つい子どもに手をかけすぎることもあるようです。学校でもついつい子どもに手をかけすぎて成長や自立にブレーキをかけてしまうこともあります。私には、子どもたちで考えられるのに、教師主導で物事を進めてしまい失敗した苦い経験があります。

では、どうしたらよいのでしょうか。やはり子どもの成長の度合いを見極めながら「できる範囲は、子どもにやらせよう」ことが大事なのだと思います。子どもにやらせるより大人がやったほうが早いと思うかもしれませんが、子どもができることなら、大人が手を出す必要はないでしょう。少しずつ子どもにやらせる範囲を広げてやると、子どもの成長が促されます。そうすれば大人も楽になります。また、行動を促す際には命令するよりも、背中を押すような言葉かけが有効でしょう。「自分でやりなさい。」よりも「自分でやってみましょう。」の方が、子どもは素直に聞き入れてくれるものです。そして、子どもができるようになったら、「よくがんばりました。」とそのがんばりを認めることが大事だと思っています。ご家庭と学校とで協力しつつ、子どもの成長に合わせて、子どもに任せる幅を増やし、第一小学校の子どもたちの自立に繋がりたいと考えております。

私は、この考え方を今でも大切に思っています。子どもを育てることは、とても難しいです。いい指導方法が一つあったとしても、その方法が全ての子どもに当てはまるとは限りません。なぜならば、子どもは、一人一人違っているからです。ですが、「自立」という観点での子育ては、子ども一人一人の可能性を見極めて、教師や保護者がゆとりをもって遠目で見守ってやることも大切ではないかと思っています。

ホームページ記事より

## 6年生を送る会 1日前

2月25日(木)



6年生を送る会が明日になりました。5年生が準備をしています。運営は、すべて5年生が行います。この行事から5年生が最高学年としての仕事を行います。責任をもって一生懸命準備を進めていました。そして、各学年の出し物が披露されます。この日のために



一生懸命練習をしていました。いよいよ明日が本番です。どの学年も頑張ってください。

## 6年生を送る会 当日

2月26日(金)

### ○ 4年生 「学校あるある」

学校の日常生活の中の特徴のある出来事を抜粋して、劇にまとめました。4年生らしいはきはきとした演技でした。

### ○ 1年生 「いいこといっぱい, 1年生」

一年生にとってこの1年間は、真新しいことの連続でした。それを劇にまとめました。国語、算数、体育の時間の様子を振り返りながら演じていました。体いっぱいに演技する1年生の姿を見ることができました。

### ○ 2年生 「2iziu」

音楽に合わせていろいろな縄跳びの技を披露しました。ステージの上で縄跳び大会の再現をしているようでした。6年生のような人の字跳びに挑戦し、皆から声援を受けました。

### ○ 3年生 「リズム&ソング」

前半は「メヌエット」「アラベスク」のピアノ演奏に合わせて体でリズム打ち、いわゆるボディーパーカッションの演技をし、後半は「アイノカタチ」で会場を温かい雰囲気にしてくれました。

### ○ 5年生 「十二支たちの卒業式」

昔から伝わっている十二支に係るお話を「卒業」をモチーフとした劇にアレンジして演じていました。さすが5年生、内容も演技もよかったです。運営もとてもよかったです。

### 6年生から 「僕の私のトレンド2020」

今年度の1年間の出来事を劇にしました。「コロナ」「鬼滅の刃」等、最も話題性のある出来事で、6年生らしいチームワークのよさがわかる演技をしてくれました。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ご多用中、来校して下さりありがとうございました。

**ホームページで紹介できなかった内容です。**

## 食に関する指導



2月16日（火）

栄養教諭の三宅先生より、1年生に向けて食に関するお話がありました。

初めに、1年生が嫌いな（苦手な）食べ物をそれぞれ発表し、食べないとどうなるのかをみんなで考えてみました。それから好きな食べ物ばかり食べていると、どうになってしまうのかという、ストーリー（3匹の子豚）を観ました。

偏った食事をしていると、『思考力が低下する』『怪我の治りが悪くなる』ことを知り、そうならないためには、どうしたら嫌いな食べ物がたべられるのかを考え発表しました。食事の偏りをなくすように『細かくする』『先に食べる』等工夫して頑張るそうです。

これを機に給食や普段の食事に役立てて欲しいです。

## 6年生主催の茶話会

2月19日（金）

6年生が、6年間見守って頂いたボランティアさんに感謝の気持ちを伝えるべく茶話会をしました。

『木星』の楽器演奏から始まり、本来なら恒例のお菓子作りをするところ、今年は新型コロナウイルスのため取止め、代わりに白雪姫の劇を披露し、ボランティアさんを楽しませていました。



最後に、肩をお一人お一人に揉んで差し上げて、感謝の手紙と手作りのマスコットのプレゼントを渡しました。ボランティアさんの事を思いながら、子供達が手紙を一文字一文字書き、マスコットは一針一針縫いました。大切にさせて頂けたらと思います。

ボランティアの皆さん6年生を6年間見守り頂いて本当にありがとうございました。

# 卒業にむけて

6年生 井本百音

私は、今までお世話になった先生方、友だち、親、ボランティアさん、その他たくさんの方々に感謝したいです。ですが、感謝するといっても、どう表現すればいいか分からず時間が過ぎてしまいました。考えた結果、日々の「ありがとう」の一言を大切にしたり、卒業式を成功させたりして、感謝の気持ちを表そうと思います。そのために、態度を一から見直し、返事も心がけようと思いました。卒業式、絶対成功させるぞ。

6年生 金田弘楓

茶話会や送る会で、改めて6年間いろいろな人の支えてもらったのだと思いました。これまで運動会などのいろいろな行事ができたのもボランティアさんや家族、先生方の助けがあったからだとおもったので、たくさん感謝していきたくと思いました。また、たくさん遊んでくれたり勉強を教えてくれたりしてくれた友だちにも感謝するために、中学校に行ったら助けてもらうだけでなく助ける側になりたいと思いました。

6年生 河端亮介

茶話会や送る会が終わって残るは卒業式だけとなりました。

行事の数だけ、ぼくたちは今までお世話になった人に感謝しないといけないと思いました。あと2週間でぼくたちは小学校を卒業して中学校に行くんだと思うとちゃんとしないといけないと思いました。感謝の気持ちは言葉だけじゃなく行動でも示すことができます。たとえば、毎日のそうじです。学校をきれいにすることも感謝の気持ちを伝えられます。だから、毎日、当たり前前を当たり前前にやりたいです。

6年生 鍛冶愛香

6年間の行事で残るは、あと一つ。「卒業式」だけになりました。

みんなでたくさん練習した茶話会や6年生を送る会もあっという間に終わってしまいました。茶話会では、ボランティアさんに感謝の気持ちを伝えることができました。そして、6年生を送る会。5年生や他の学年にも支えられながらも、学校みんなに感謝の気持ちを伝えることができました。

そして、あとは卒業式。絶対成功させるぞ。

